

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表【事業者用】

この評価表は、児童発達支援センター、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。

令和8年12月25日現在

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指定基準は満たしている。支援を上級生と下級生で分けられるときには分けて支援することでより広くスペースを確保できるように工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		事業所を今年度から2事業所にして児童を分けたことから、職員が潤沢に配置できているとは言い難い。しかし採用は然るべき機関を使い年間を通して行うとともに、募集方法も多岐に渡り行っている。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	○			施設の構造はバリアフリーにはなっていないが、支援する部屋を分けることでクールダウンができるようなスペースや静かな環境で作業ができるスペースを確保するように努めている。また、事業所に入ってからやる事の順序がわかりやすいように番号や行程を視覚化することで児童たちがわかりやす異様にしている。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			毎日事業所内外の清掃は行っており、整理整頓を心がけている。また、感染症対策でもあるが消毒や空気清浄をすることで、日々気持ちよく過ごせるよう工夫している。
業務改	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎朝の朝礼で実施している。常勤が主として参加しているため、今後は非常勤職員にも積極的に参加してもらえよう時間帯を調節するなど工夫していく
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表及び保護者会時にアンケートをとり、意向や意見を頂く機会を設けている。また、保護者会の時には事業所についての話が充分にできるよう、時間を設
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			弊社ホームページに載せるとともに、年度末までに行われる第二回保護者会時に閲覧ができる旨ご案内をしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
善	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者機関を設けていないため。今後は検討し設置していく予定。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修に行ってきた職員から事業所に周知させるための研修会、外部講師を呼んで研修をする等の工夫をした。ただし回数としては年数回になっているため、今後は定期的に研修が受けられるように研修回数を増やしていく予定。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者からいただく情報を元に計画書を作成、職員会議をしながら課題を含めた支援計画を立てている。
	2	放課後等デイサービスガイドラインに基づき、放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			必要項目の設定及び支援内容を策定して記載するとともに、家族支援や移行支援についても力を入れている。本人と家庭支援の両立ができるだけ叶うように工夫している。
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			小さな集団から全員で行う活動まで、プログラムの計画には個々の課題に近づけながらできる支援を日々取り入れて実施している。そのための計画を作成するようにしている。
	4	放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	○			集団の中でもできるだけ個別支援が叶うように工夫して支援をしながら計画に合うものが提供していけるように日々考え行っている。
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎朝の朝礼で最近の各児童の様子を踏まえながら全体で考え立案している。できるだけ、集団活動と個別活動を織り交ぜて支援が実施できるように工夫している。
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童の様子を日々見ながら活動目的を日々変えて飽きが来ないように実施している。
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、土曜日、長期休暇は全て別プログラムとして企画し、支援を行っている。平日は運動や食育、製作を主として行っている。土曜日はSTEMボックスというクラブ活動を軸とし、長期休暇は体験や外部との関わりを主とした目的をもって行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼で日々の支援の立案をするだけではなく、非常勤職員出勤時に活動についての目的や役割を伝えながら到達点の共有、確認をしている。
適切な支援の提供（続き）	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎夕方、日々のケース記録を書く際に、各児童の様子を発言し合い共有している。そのうえで記録にまとめながら課題となるところや活動の反省点等を共有し、次回に生かすよう意識しながら打ち合わせをしている。
	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々のケース記録に支援中の事実を記載し、職員とのやり取りや児童同士の記録を残している。そこから改善が必要な点は当日のうちに職員間で検証し、次回につなげられるよう改善できる点を話し合いのもと共有している。
	11	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングで支援内容の修正を図るとともに、普段から連絡ツールを使って保護者とも状況を伝えながら、その時点で見直す必要があれば時期を問わず適宜行っている。
関係機関や保護者との連	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			相談支援専門員を中心として担当者会議を実施しており、毎度必要な機関が参画できている。
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか		○		情報共有が可能なところと不可の学校があり、かなり学校により差がある。情報共有ができる学校とは支援内容について十分に話ができている。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	○			事業所をこれから併用する際や、事業所を退所し他事業所に移行する際に、互いの事業所が電話連絡や書面を通じて移行支援の為の情報提供を行っている。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			放デイ連絡会等に参加し、研修や助言を受けている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
携	7	放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がない子どもと活動する機会があるか		○		昨年度とは異なり、今年は児童館等に行く機会があったものの、子ども同士が関わる機会がなかった。今後は積極的に計画のなかに組み込んでいく。学童クラブとの連携は適宜行っている。
	8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域の方が月に一度来所し交流を図れる場を作っている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時のみならず、年二回の保護者会時に説明を行っている。また、保護者から質問をいただいた際にはできる限り迅速に対応し説明、対応をしている。
	2	放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			面談時に保護者の意向も伺いながら、家庭と事業所、学校でのあらわれを共有しながら説明を行っている。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者会を年に2度開催し、その際には必ず行っている。その他は日々の午前中の時間を使って個別に面談を通して行っているが件数は少ない。今後は増やしていく予定。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			夕方の保護者による事業所へのお迎え時に、当日の様子や家での様子を伝い合える場を持っている。事業所側の自宅への送り業務はできるだけ減らし、保護者が事業所に出向いていただくことで、過ごしている様子を毎回見ていただけることで共通理解をしやすい状況を作っている。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談時や日々の利用していただく際の帰りのお迎えの際、または連絡ノートや電話で行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
保護者への説明責任等 (続き)	6	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会は当事業所にはないが保護者会時にグループワークを行って交流の場をもち、親睦を深める場を作っている。回数としては少ないため、今後は親子イベント等を開催して保護者同士の関わりが増えるように企画する予定。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			できる限り迅速に当日のうちに対応をするように努めている。当日に回答が出せない場合は期間を定めて今までに実績はないが、市や県に確認が必要な場合は時間をいただくことを契約時に伝えている。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子ども自身が保護者に伝えにくいことを聞き取り、支援者側が保護者に本人の思いに配慮しながら伝達している。命の危険がある時や、保護者に動いていただかなければ解決が難しい時には、本人の意向も伝えながら保護者に情報伝達をしている。
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			土曜日の活動プログラム、学校休業日中の支援予定を連絡ツールや保護者会、玄関掲示やお便り配布をして発信している。
	10	個人情報に十分注意しているか	○			事業所で働く職員全員が十分に注意して取り扱っている。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			保護者会の際にファイルを閲覧できるようにし、見ていただくよう会の中で声掛けをしている。質問があればその時に対応、後日質問も受け付けている。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月一回、防災に関する訓練を支援の一環として行っている。また、職員間でも避難経路、非常用品の確認を行いながら有事に備えている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
非常時等の 対応	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員の職員を中心に、虐待に関する研修を事業所で行っている。事例検討をしながらどのようなケースが虐待に当たるかということ職員全体で考える機会を作るとともに、防止するための職員の意識づけも目的とし、適切な対応がとれるようにしている。
	4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			虐待防止委員の職員を中心に、身体拘束に関する研修も同時に行っている。拘束の必要性がある場合については研修で職員全体で周知し、そういった必要がある場合には個別支援計画書の備考欄に記載するということを保護者に伝えている。
	5	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食物アレルギーの該当者がいないため、指示書はない。
	6	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			いつでもヒヤリハットがかけられるように記録用紙を支援室に置くようにしている。記録がある場合、当日夕方の反省時、または翌日の朝礼時に共有するようにしている。非常勤で参加できない場合には引継ぎノートを利用して把握できるようにしている。